

へ音記号 Bass の「:」投げ祭

海 辺 新 聞

2023年11月11日
土曜日

シーサイドブックス
SeasideBooks
制作・山川夜高

Website libsy.net Twitter [@mtn_river](https://twitter.com/mtn_river)

Fediverse (Misskey) @mtn_river@misskey.design

Online Store
libsy.booth.pm



▲写真(上):海辺公園(東京都青海市)特設ステージから「:」を来場者に配る様子。衛生に配慮し、「:」は2個1セットで個包装されている。出演者名は裏面を参照。

▼写真(下):「:」を用いたタピオカミルクティー風飲料。記号は想像上の概念であるため、想像した通りの食感を味わえる。



「奇祭」大賑わい ベースの日を記念

「ベースの日」である11月11日、東京都青海市では恒例の「へ音記号のこゝ」の部分投げ祭が開催された。青海市内の海辺公園につくられた特設ステージには国内外から多くのベーシストが集まり、来場者に向けて「こゝ」に増上から「:」を投げた。ステージでは出演者によるトークイベントのほか、「ヒゲのテーマ」の生演奏に合わせた舞踊や低音楽器のみを集めた合奏が開かれた。イベントに参加した来場者は「地響きのような演奏だった」「ブブゼラはうるさかった」とコメントした。

会場ではロックバンド・シグナルレズスのベーシスト・井上和磨さん(写真上・左)が考案した「:」を用いたタピオカドリンク風飲料やキャビア風食品も販売された。記号は形而上概念であるためカロリーゼロだが、調味料に含まれる栄養素は身体に摂取されるため、食べすぎには注意が必要だ。料理を考案した井上さんは取材班に対し「なんやこれ」と言葉を濁した。

へ音記号の左側の余った方は会場内のリサイクルボックスで回収される。その後は4分の4拍子記号の「c」やイヤーマニターに加工されて、ミュージシャンの間で再利用されることだ。

「ポッキーの方がよかった」 不満の声も噴出

「へ音記号のこゝ」の部分投げ祭の主催団体であるファイネツジレコースII(東京都渋谷区II所属のベーシスト・青野理史さん(写真上・左から2番目))は「ごめん自分でも何を言っているのか分からない。こゝの部分って何?」と参加者を代表して疑問を表明した。一方で同所属のベーシスト・嘉嶋元氣さん(写真上・右)は「今日はポッキーの日だし、もううならポッキーかブッリツがよかった」と不満を示した。

ねずみちゃん
LINEスタンプ
なるほどね
40種
好評
配信中

水死体を
拾って
飼う。

短編小説
入江にて

III
Throw
The
Bass
Cleff

力を込めて、
ぶん投げろ。

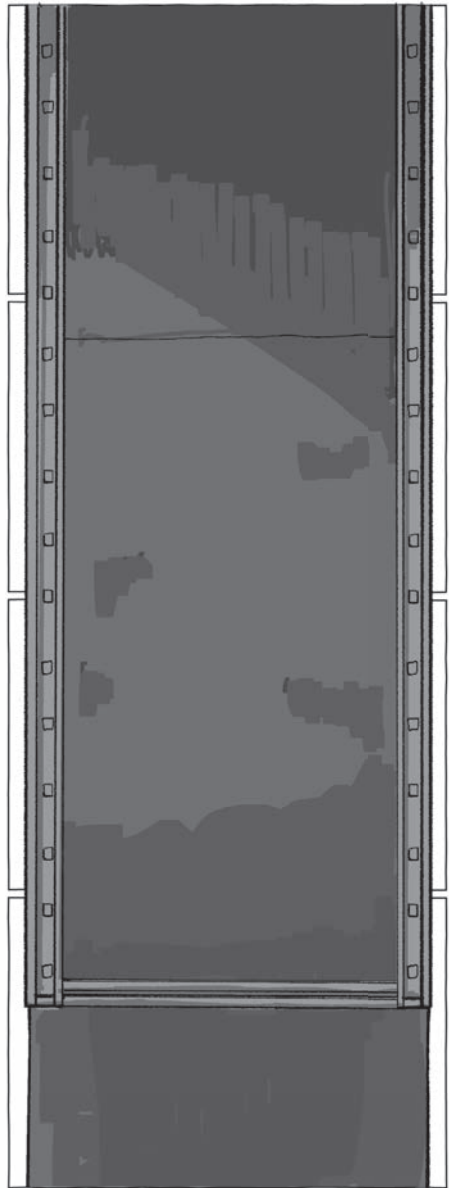
表紙も本文もつくれる!

文芸デザイン 有償依頼制作
同人誌向け 特殊装丁や印刷所の相談も◎

できること・制作事例など ▶ libsy.net/order

装訂部 by SeasideBooks

クアトの柱がジャマで4コマが読めない回



ロゴデザイン2点 微妙にリニューアル

[CIPHER]



CIPHER

シーサイドブックス SeasideBooks



シーサイドブックス SeasideBooks

細かすぎて印刷で伝わらない

サークル「シーサイドブックス」、小説『Cipher』のロゴをリニューアルした。どちらも既存フォントを適当に調整したものを数年間使用していたが、今回からは独自に字形をアレンジしている。

シーサイドブックスのロゴは既存ロゴの第一印象から変更のないようにしながら、細部をわずかに歪める加工を行った。今後は作品によってアイコンの鳥を変えてロゴのバリエーションを増やすつもりだ。

『Cipher』タイトルは元のタイトルと同じフォント「Trajan (トレイジャン)」を元に、Cのセリフ(うご)をスラッシュつきゼロをイメージして鋭く強調した。HやRの字も「消えていきまう」な印象を与えるように加工し、特に意味のない装飾だった大カッコを廃止した。

デザイナーの山川夜高氏は「なぜか人件費が多かった。本当は5000兆円ずつ欲しい」と不満をあらわにした。シーサイドブックスではサークルや作品のロゴデザインの制作依頼を募集している。

くしゅん(ニッキ)



フリーペーパー『海辺新聞』は新聞のフォーマットで与太話を好き放題書くジョーク文書だ。へ音記号の「:」は食べられないので、誤って口に含まないよう十分に気をつけられたい。◆11月11日開催の文学フリマに合わせてベージストを主役にした新作小説を出したかったが、執筆が難航し、間に合わせる事ができなかった。

同じく音楽題材の小説本を落とした小町紗良さんに、せめて嘘新聞にはベージストネタを載せたいと駄弁ったところ、へ音記号の「:」を投げける奇祭のアイデアを頂いた。つまり本件の発案者は小町さんになるの、あまり私を責めないでほしい。

◆架空のバンドを創作している些々細きん、とわなみさん、小町紗良さんに祭の概要を説明し、この奇祭に出演してこれぞうなベージストのキャラクターをお借りした。訳の分からない内容に付き合わせたことに改めてお詫びとお礼を申し上げます。

◆4コマ漫画は渋谷のライブハウス・クラブアート□のフロアの柱をネタにした。実物は画像検索されたし。◆架空のロックバンドの設定はウェブサイトにまとめている(右下のQRコードを参照)。バンド・シグナルレックスは書籍『Sorafail, 空は晴れて』収録作品の小説「あとがき」に名前が登場する。バンド・Drive to Plutoも初出はウェブ小説『これは物語ではない』で、活動停止したロックバンドとして後世のファンである登場人物が言及している。◆シーサイドブックスの作品はほとんど全作品が繋がっており、架空のロックバンドは作中世界を知名度で繋ぐ縦糸として機能している。今後も作品間の繋がりがや、作中世界の時間の変遷を楽しんでもらえたら嬉しい。◆なお筆者が趣味で弾いているのはギターなのでへ音記号は全く読めない、やめて「:」を投げないで。 文〓山川夜高

「へ音記号の『:] 投げ祭」出演者名

(左から右。注記がない場合、作者:山川夜高)

井上 和磨(SIGNALREDS)

青野 理史(Drive to Pluto)

ロリータさん(little black dress)

作者:小町紗良さん lit.link/srxxxgrgr

柏原 翼さん(ニュートランクライン)

作者:些々細きん misskey.design/@_ntn_slp

内樹 柚葉さん(Mole Against the Sun)

作者:とわなみさん towanami.blog.fc2.com

嘉嶋 元気(環-Tamaki-)

バックナンバー配信

『海辺新聞』のこれまでの記事を、シーサイドブックスのウェブサイトでご公開いたします。

libsy.net/blog/2811



物語の歩き方 SeasideBooks

“街” CIPHER

劇場完全監修 演劇の街の魅力を満載!

定番演目リストも徹底解説!

CIPHER libsy.net/cipher

Skeb

イラスト 作例

リクエスト受付中

https://skeb.jp/@mtn_river/

libsy.net/blog/2357

(秋山聖 / Drive to Pluto)

KAKUU NO ROCK BAND

NO PARODY. NO LIFE